

保育計画成果報告書

法人名等	(株) 阪本織布
施設名	うり坊保育園
報告者(役職)	北山 典子(園長)
住所・連絡先	大阪府堺市西区堀上緑町 1-6-2
	☎ 072-281-6000
	E-mail uribouhoikuen@gmail.com

○タイトル(保育計画)

楽しくあそんで!美味しくたべて!ぐっすり眠る!うり坊保育園の元気っ子!

○主な助成備品

ゲームBOX 半セット・ゲームBOX セット滑り台・カラーマット(ノンストップ) 赤
カラーマット(ノンストップ) 青 組み替えステップスクエア・やわらかいだんななめ

1. 保育計画策定の目的

堺市で初めて小学校の敷地の一部を利用した、保育施設を開園しました。園の敷地内には園庭がなく、隣接をしている小学校の敷地の芝生をお借りして、自由に園庭が使えるなく、子どもの遊びも限られていました。もっと、体や発達に合わせた遊びをと職員たちの思いがあり、十分な用具や玩具を揃えてあげたい思いでした。

今では、芝生が使えない日でも体を動かし、乳児期に安定した園生活を過ごして、乳児期で大切な、遊ぶことを学び、五感を育て、手足をしっかり動かし、自分の体を支える(体幹)運動遊びを生活の中で遊びとして組み込んできました。今回保育計画策定を行うことで子どもたちも、興味をもって自分で行動、主体的・意欲的に遊べ、体力、運動能力を高め、当園の理念や目標に基づいた生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送る基盤ができると思いました。

2. 具体的な実施内容

大型玩具

ゲームBOX、滑り台、滑り台のタラップなどは結構大型なので、配置に迷いましたが子どもたちが常に遊びやすい場所に配置し、お天気の良い日は外に持ち出しができるマット、組み替えステップスクエア・やわらかいだんななめは外に出して遊ぶことができ、隣の小学校の芝生内での運動遊びの領域が広がりました。体を動かすことで、給食もおいしくいただき、ぐっすりとお昼寝もできて、機嫌も良く保護者がお迎えに来たときの子どもたちの笑顔で帰る姿がとても印象的です。



滑り台は外には持ち出せないけれど、部屋の隅に置いておくと、自然と子どもたちは『順番』という言葉が出てきて、ルールが生まれ、会話も広がりました。雨天の時は外に出られないので、お部屋での遊びが限られていましたが、お部屋に少しでも体を動かせる玩具があると遊びも広がります。



細い幅のところを歩くことが苦手で、組み替えステップによって足の裏を刺激されるとつい、横に出て歩いていた子どもたちが、足の裏にあたる刺激も気にせずステップの上をスムーズに歩くことができました。また、一本橋に見立てて歩くバランスが取れるようになりました。



壁際に置いたら恐る恐る組み替えステップの上を壁伝いに歩いていた。平衡間隔が育ってきたのか平気でステップスクエアの斜めになっているところを壁伝いから手を放し歩く姿が見られてきました。また、その上を立って、姿勢を保つことができ、怖がらずに前に進む姿が見られます。





ゲーム BOX は色々な用途で楽しめます。BOX の形や特徴を活かして、「くぐる」「登る」「ジャンプする」「わたる」の様々な動きが見られ、年齢ごとの発達を見ることができました。穴をくぐることで、自分の体の大きさを知ることができ空間認識、低い姿勢での運動で姿勢を正す筋力も養われてきました。



マットは多様で、外に出て遊ぶときは0歳児がその上で遊び、ハイハイをして楽しむことができました。マットにフープを通してフープのトンネルができ、0歳児はハイハイしながらフープをくぐったり、途中フープを掴みつかまり立ちができました。1・2歳になるとゲームBOXからジャンプしてマットの上に着地して繰り返し楽しむことができました。

3. その成果と評価

室内でもいろいろな遊びができ、簡単に取り入れることができるため、雨の日の室内遊びとして存分に体を動かすことができました。マット遊びを行うことで平衡感覚や体の柔軟性、体の動きを素早く切り替える機敏性が育ち、保育では積極的に取り入れていきたい遊びの一つです。また、0歳からも楽しむことができるので幅広い保育で取り入れました。滑り台は順番に滑る、押さない、などのルールを決めると守ることができるようになり、すべての遊びで順番に待っている姿が見られるようになりました。また、滑る際にはお腹に力を入れて姿勢を保つ筋力ができてきたので、椅子に座った時の姿勢が良く、食事の時間の姿勢も良くなってきました。子どもたちは運動遊びに興味を持ってきて、自分で手足を動かし、体全体を動かして遊ぶことを楽しむようになりました。

4. 今後の課題と展開

しっかり遊んで、食べて、寝て、体を動かす、乳児期でしか体験できないこと、遊びを通して自信を持てるよう、色々経験したことで将来大人になっても生きる力をつけていってほしいと願います。また、個人差もありますが、子ども一人ひとりの様子を見ながら、その子に合った運動遊び、生活をしていきたいと思えます。

以上